



2023年5月25日

グローバルヘルス技術振興基金（GHIT Fund）第三期への資金拠出について

塩野義製薬株式会社（本社：大阪市中央区、代表取締役会長兼社長 CEO：手代木 功、以下「塩野義製薬」）は、公益社団法人グローバルヘルス技術振興基金（以下、GHIT Fund）の活動の第三期となる2023年度から2027年度までの5年間に、GHIT Fundの資金拠出パートナーの一員として資金拠出を行うことを決定しましたので、お知らせいたします。

GHIT Fundは2013年に設立した世界初の国際的な官民パートナーシップであり、日本の技術、知見、イノベーションを用いた治療薬、ワクチン、診断薬の開発を通して、世界三大感染症（エイズ、結核、マラリア）や顧みられない熱帯病（NTDs）等の、特に開発途上国の人々を苦しめる感染症の制圧を活動の目的としています。第一期（2013年度～2017年度）および第二期（2018年度～2022年度）において、累計118件のプロジェクトに対し291億円の投資を行い、探索研究から南米やアフリカにおける臨床試験に至るまで、日本の創薬技術・ノウハウ・英知をグローバルヘルスに直接的かつ効果的に活かすことを目指してきました。

塩野義製薬はGHIT Fundの設立当初からの加盟企業であり、第一期および第二期において資金拠出を実施しています^{1,2}。また、多剤耐性結核菌に対する治療薬創製を目的とした共同研究や Drugs for Neglected Diseases initiativeが主導する顧みられない熱帯病領域（シャーガス病、リーシュマニア症）に対する治療薬創製を目的としたコンソーシアムにも参画し、昨年度は、新規マラリア治療薬の研究ならびに開発候補品の創出を目的として共同研究を開始しました³。

塩野義製薬は、取り組むべきマテリアリティ（重要課題）として「感染症の脅威からの解放」を特定し、感染症のトータルケアの実現に向けた取り組みを進めています。当社は感染症のリーディングカンパニーとして、公衆衛生上の大きな課題である世界三大感染症、AMR、COVID-19など幅広い感染症への対策に継続して取り組んでまいります。

以上

公益社団法人グローバルヘルス技術振興基金（GHIT Fund）について

グローバルヘルス技術振興基金（GHIT Fund）は、日本政府（外務省、厚生労働省）、製薬企業などの民間企業、ビル&メリンダ・ゲイツ財団、ウェルカム、国連開発計画が参画する国際的な官民ファンドです。世界の最貧困層の健康を脅かすマラリア、結核、顧みられない熱帯病（NTDs）などの感染症と闘うための新薬開発への投資、ならびにポートフォリオ・マネジメントを行っています。治療薬、ワクチン、診断薬を開発するために、GHIT Fund は日本の製薬企業、大学、研究機関の製品開発への参画と、海外の機関との連携を促進しています。詳しくは、<https://www.ghitfund.org> をご覧ください。

参考：

1. [プレスリリース：2013年4月8日](#)
グローバルヘルス技術振興基金への参画について
2. [プレスリリース：2017年6月1日](#)
グローバルヘルス技術振興基金（GHIT Fund）第二期への資金拠出について
3. [プレスリリース：2023年3月13日](#)
新規マラリア治療薬創出に関する長崎大学・MMV との共同研究契約の締結と GHIT Fund による採択について

[お問合せ先]

塩野義製薬ウェブサイト お問い合わせフォーム：

<https://www.shionogi.com/jp/ja/quest.html#3>